

## 有用遺伝資源の評価・利用

### 【研究概要】

東京都の育成品種をはじめ、広く有用植物や品種等を収集・評価し、有望品種の特性を把握すること。及び、有用遺伝資源については新品種育成に活用することをめざして試験を実施した。その中で、今年度は下記の6つの成果が得られた。

- (1) ブバルディア：第3期2品種の現地試作（1年目）での生育特性や市場性を確認した。第4期候補系統の現地試作試験（1年目）を行った。
- (2) ウド：可食部の機能性解明の基礎資料とするため、軟化茎の成分分析を行った。
- (3) 春まきキャベツ及び抑制工ダマメの有望品種を選定した。
- (4) 露地イチゴ「おひさま東京ベリー」の原苗50株を東京都種苗会へ分割譲渡した。
- (5) サトイモ「東京土垂1号」の種芋を都生産者団体（3団体）に各1kg配布した。
- (6) ビンカの有望品種を選定した。